

きょうう工場側が回答

新日窒共同調査は終る

新日窒水俣工場代表と水俣市漁協は十五日夕方ちかくまで水俣湾を

中心とした汚染漁場の実態調査を行ない、同湾に排せつされる工場
の沈でん物、魚介類のせい息状
態、爆発など総合的に見て回っ
た。その結果、双方ともまだほっ
きりした結論を出していないが、
結局十七日午後一時半から同市昭
和町の日窒昭和会館でさる十二日
の工場側回答漁民被害補償二千万
円を増額するかどうかについて工
場側から再回答することになっ
た。

この日の調査については十六日双
方ともまだ数字的にしめていな
いが、同漁協代表の話を総合して
みると

●調査のさい工場側は乳色をし
たカーバイド残しの排水につい
て早急な対応でも同様に有明海

に流しており、水俣湾でもおな
い。王はないかについていたが、

漁民側はそれでは黄褐色の排水
が水俣湾に流れているのは何か
とたまたしたところ工場側は答え
なかったこと●同湾に魚介類の
姿が減ってきたことと自体が被害
であり、水俣病問題(別として
同日の調査でも判ったように海
底にせい息する虫がドバ(汚悪
水による沈でん物)のため死滅
し魚類が寄りつかなくなった。

工場側が早く浄化措置をしてい
たら現状のような状態にはなら
なかったこと●工場としても以
前は窒素肥料を作っていたのが
次第に塩化ビニール、硫黄酸
安などを作り出したように、わ
れわれも操業できないとなれば

告し総合結果を出すことになっ
ているが、球磨丸の調査団も今
回の同湾の毒性分布状態調査で
二、三年前の調査の時より海水
が汚染され魚類が減っているの
をみて、いつからこの状態にな
ったかといっていたこと、など
となっている。

漁民としてもきょう十七日の団交
では工場側とはなるべく円満解決
の方向に話を進めたいが、工場側
の態度いかんではもちろん座込み
も辞さないといっている。

何とか漁法を考えなおさねばな
らない●工場側がいう最近では全
国的に魚が少なくなってきたい
るので水俣湾も減っているとい
うのは理屈にならない●県水試
調査船球磨丸も一応調査をすま
せ、結果をまとめて熊大側に報